

Q 昨年広島体験研修に参加した小中学生の中で、広島で聞いた被爆者の話が思い出され、10月になっても怖くて時々眠れなくなった生徒がいたという。もし、ことし参加する生徒の中で、怖くて眠れなくなつて、ノイローゼになり、自殺する者が出たらど



広島体験研修はやめよ

自殺者が出たらどうするか

町田 むねひろ 議員

A うするのか。その可能性が少しでもあるならば、本研修はやめるべきである。

Q 教育長 昨年の研修日程や内容を細かく吟味し、小6、中1という子どもの発達段階に考慮していききたい。

Q 戦争もよく知らない、まして核兵器や太平洋戦争の原因、経過等についてほとんど知らない、しかも感受性の極めて強い小中学生を、義務教育中に、公立の学校において、絶対に参加させるべきではない。

A 教育長 昨年は、事前研修を積んだ上で実施した。ことしも、子ども達の発達段階に配慮した研

修となるよう工夫改善していききたい。

Q 平成23年度において、前橋市では小中学校の全教室にエアコンを取りつけ、夏休みを活用して1学期の復習や受験指導をするという。群馬大学・前橋工科大学・共愛学園前橋国際大学にも協力を要請するというが、玉村町でもこれを参考に実施されたい。先生は、県立女子大学に要請してはどうか。

A 教育長 平成23年度の1年をかけて、エアコンについて調査研究を進める。しかし、夏休みを活用した補充学習などは、今までもおり、各学校が工夫して実施する。

実施した。ことしも、子ども達の発達段階に配慮した研



広島体験研修報告会

町長のめざす将来像は

川端 宏和 議員



働により町民の皆様と築いていく。

Q 企業誘致や産業振興が図られ、雇用環境の改善と子育てしやすく暮らしやすい環境などにより、若い勤労者の転入が期待される。受け入れ態勢を問う。

A 町長 子育て支援体制の充実や、通勤通学がしやすいような道路網の整備、さらに住宅用地の確保や雇用の場である事業所の立地促進も重要な施策と考える。

Q 地域力や地域活性化向上のために、何が地域に必要と感ずるか。

A 町長 自治会、町内会等の住民組織がコミュニティ活動に必要とする設備や地区公民館等の施設整備事業に対し、助成を行う。

Q 観光による地域振興のため、ことしは花火大会を大々的にアピールするようだが、各地域にある屋台、みこし等と競演してはどうか。

A 町長 来場者への受け入れ態勢を構築することが最優先である。快適に観覧できる環境を整備することが、まずは重要と考える。

Q 施政方針で述べている「住みたい町へ」とは、描いている構想を伺う。

A 町長 交通の利便性を生かして産業の集積を進め、活気ある地域経済を実現する。「住みたい町」と感じるような個性と魅力あるまちを、参画と協



屋台は、ふるさとまつりの移動大舞台